



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社ニコン 上場取引所 東
 コード番号 7731 URL http://www.nikon.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛田 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部 広報・IR部長 (氏名) 豊田 陽介 (TEL) 03-6433-3741
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	392,677	4.7	14,537	11.0	20,273	37.3	11,254	11.8
27年3月期第2四半期	374,965	△20.3	13,099	△40.2	14,760	△26.3	10,070	△26.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,808百万円(-%) 27年3月期第2四半期 26,138百万円(2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	28.38	28.31
27年3月期第2四半期	25.39	25.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	984,287	560,824	56.8
27年3月期	972,945	572,200	58.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 559,068百万円 27年3月期 570,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	22.00	32.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	855,000	△0.3	34,000	△21.7	41,000	△11.6	22,000	19.8	55.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	400,878,921株	27年3月期	400,878,921株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,686,220株	27年3月期	4,152,366株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	396,626,303株	27年3月期2Q	396,683,302株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 企業結合等関係	13
4. 参考資料	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日)の経済状況は、わが国経済においては、個人消費が堅調に推移するなか、企業収益も改善傾向を示すなど、回復基調にありました。また、世界経済は、米国、欧州経済は緩やかな改善傾向にありましたが、中国経済は減速傾向を示しました。

事業別では、精機事業においては、半導体関連分野の設備投資は引き続き堅調に推移しました。FPD関連分野では、中小型パネル用の設備投資は回復傾向にあり、大型パネル用の設備投資は堅調に推移しました。映像事業は、レンズ交換式デジタルカメラ市場及びコンパクトデジタルカメラ市場は低調に推移しました。インストルメンツ事業においては、マイクロスコープ関連分野は米州を中心に堅調に推移し、産業機器関連分野は半導体・電子部品関連の堅調な設備投資が継続しました。

こうした事業環境において、当社はコストの削減とリードタイムの短縮を追求し、事業効率の改善に努めてまいりました。さらに、変化するニーズに合わせた製品・サービスの提供による売上規模の拡大にも取り組みました。

また、重要な課題である事業ポートフォリオの再構築のため、網膜画像診断機器市場における代表的な企業である英国 Optos Plcを完全子会社化し、メディカル事業に本格参入しました。さらに、再生医療向け細胞生産で世界最大手のスイス Lonza社との間で日本における細胞受託生産に関する戦略的業務提携契約を締結し、再生医療用細胞等の受託生産事業にも参入しました。

この結果、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,926億77百万円、前年同期比177億12百万円(4.7%)の増加、営業利益は145億37百万円、前年同期比14億38百万円(11.0%)の増加、経常利益は202億73百万円、前年同期比55億12百万円(37.3%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は112億54百万円、前年同期比11億83百万円(11.8%)の増加となりました。

セグメント情報は次のとおりであります。

① 精機事業

半導体露光装置分野では、極めて高い重ね合わせ精度と生産性を実現したArF液浸スキャナー「NSR-S630D」の拡販に注力したほか、G450C(Global 450 Consortium)のマイルストーンに基づき、米国SUNY Polytechnic Institute's Colleges of Nanoscale Science and Engineeringに対して、450mmウェハ対応ArF液浸スキャナー「NSR-S650D」を販売しました。FPD露光装置分野では、設備投資回復を背景に、高精細中小型パネルの生産に適した「FX-66S」や「FX-67S」が順調に販売を伸ばしたほか、高精細大型パネルの生産に適した「FX-86S2」の販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は789億45百万円、前年同期比43.6%の増加となり、営業利益は40億45百万円(前年同期は32億61百万円の営業損失)となりました。

② 映像事業

レンズ交換式デジタルカメラは、プロフェッショナルモデルに迫る本格仕様のデジタル一眼レフカメラ「D750」や、ミドルクラスモデルの「D7200」などの中高級機が好調に推移しました。コンパクトデジタルカメラは、2000mm相当の超望遠撮影が高画質で楽しめる多機能モデル「COOLPIX P900」や、小型ボディに光学60倍ズームのレンズを搭載した「COOLPIX P610」等が堅調に推移しました。

しかしながら、市場縮小の影響を受け、当事業の売上高は2,636億49百万円、前年同期比5.0%の減少となりました。営業利益は、製品ミックスの改善や経費削減により計画値を上回り、242億76百万円となりましたが、前年同期比では11.9%の減少となりました。

③ インストルメンツ事業

マイクロスコープ分野では、研究用倒立顕微鏡及び米州におけるコンフォーカル顕微鏡の販売が全体を牽引し、また為替の好影響により、売上げを伸ばしました。

産業機器分野では、半導体・電子部品関連の設備投資の増加、及び半導体検査装置の販売台数の増加により、売上げを伸ばしております。

これらの結果、当事業の売上高は332億41百万円、前年同期比16.6%の増加、5億44百万円の営業損失（前年同期は21億44百万円の営業損失）となりました。

④ メディカル事業

メディカル事業では、本年5月に完全子会社化の手続を完了しました英国Optos Plcを連結の範囲に含めたことにより、網膜画像診断機器「Daytona」をはじめとする同社の売上高を当事業の売上高に計上しました。

これらの結果、当事業の売上高は53億54百万円となりましたが、メディカル関連の新事業への先行投資等の影響により、25億83百万円の営業損失となりました。

⑤ その他の事業

カスタムプロダクツ事業では、固体レーザーが大きく売上げを伸ばしましたが、宇宙関連は減収となりました。ガラス事業では、FPDフォトマスク基板の販売不振の中で光学部品の拡販に努めました。

この結果、これら事業の売上高は114億87百万円、前年同期比18.2%の減少、営業利益は14億47百万円、前年同期比57.2%の減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、9,842億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて113億42百万円増加しました。これは主に、現金及び預金がOptos Plc株式取得等により328億96百万円減少し、受取手形及び売掛金が220億43百万円減少した一方で、たな卸資産が258億43百万円増加し、無形固定資産がOptos Plc完全子会社化に伴う企業結合等により425億35百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、4,234億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて227億18百万円増加しました。これは主に、その他に含まれる前受金が239億75百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、5,608億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて113億76百万円減少しました。これは主に、四半期純利益の計上等により利益剰余金が24億51百万円増加した一方で、主に新興国通貨に対して円高となったため為替換算調整勘定が103億30百万円減少したこと、及びその他有価証券評価差額金が41億62百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、482億90百万円の収入（前年同期は199億23百万円の収入）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益203億94百万円の計上、売上債権の減少249億98百万円、及び前受金の増加221億39百万円による収入、たな卸資産の増加257億75百万円による支出であります。

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、822億12百万円の支出（前年同期は159億95百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出131億78百万円、Optos Plc完全子会社化に際しての株式の取得に伴う支出435億62百万円、及び預入期間が3ヵ月を超える定期預金への預け入れ184億91百万円による支出であります。

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、108億26百万円の支出（前年同期は193億19百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払87億25百万円による支出であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

精機事業では、半導体関連分野の設備投資は不透明感があります。一方、FPD関連分野においては、中小型パネル用の設備投資は回復傾向を継続し、大型パネル用の設備投資は堅調に推移するものと見込まれます。映像事業では、通期のコンパクトデジタルカメラ市場は引き続き縮小しますが、レンズ交換式デジタルカメラ市場は縮小幅が小さくなることを想定しています。インストルメンツ事業では、マイクロスコープ関連分野では、米州を中心に堅調に推移し、また当社は中国でのシェア拡大が見込まれます。産業機器関連分野では、半導体・電子部品関連のアジアにおける減速の懸念はあるものの、自動車関連は堅調な設備投資が予想されます。メディカル事業では、網膜画像診断機器の欧州・アジアでの需要は低調に推移することが想定されますが、米国においては堅調に推移することが見込まれます。

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月30日に公表いたしました「平成28年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	262,501	229,605
受取手形及び売掛金	131,554	109,510
商品及び製品	88,072	106,327
仕掛品	121,929	130,319
原材料及び貯蔵品	29,980	29,178
その他	55,637	67,006
貸倒引当金	△4,159	△4,069
流動資産合計	685,516	667,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,094	50,123
機械装置及び運搬具(純額)	48,072	42,236
土地	16,142	16,054
建設仮勘定	4,393	6,160
その他(純額)	26,383	24,517
有形固定資産合計	148,085	139,092
無形固定資産		
のれん	3,076	23,762
その他	25,294	47,143
無形固定資産合計	28,370	70,905
投資その他の資産		
投資有価証券	80,860	78,058
その他	30,398	28,649
貸倒引当金	△285	△298
投資その他の資産合計	110,973	106,409
固定資産合計	287,429	316,408
資産合計	972,945	984,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,724	118,169
短期借入金	28,600	31,500
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	5,038	5,722
製品保証引当金	9,165	7,994
その他	130,737	143,703
流動負債合計	287,265	317,090
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	34,600	31,700
退職給付に係る負債	8,477	8,189
資産除去債務	3,623	3,659
その他	16,777	22,822
固定負債合計	113,479	106,372
負債合計	400,744	423,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,475	65,475
資本剰余金	80,711	80,711
利益剰余金	378,515	380,966
自己株式	△12,412	△13,252
株主資本合計	512,290	513,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,775	16,612
繰延ヘッジ損益	△1,200	△61
為替換算調整勘定	40,517	30,187
退職給付に係る調整累計額	△1,821	△1,571
その他の包括利益累計額合計	58,270	45,166
新株予約権	1,132	1,231
非支配株主持分	507	524
純資産合計	572,200	560,824
負債純資産合計	972,945	984,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	374,965	392,677
売上原価	228,788	243,050
売上総利益	146,177	149,627
販売費及び一般管理費	133,078	135,090
営業利益	13,099	14,537
営業外収益		
受取利息	636	921
受取配当金	702	743
持分法による投資利益	729	949
その他	2,210	4,973
営業外収益合計	4,279	7,588
営業外費用		
支払利息	738	680
為替差損	498	—
その他	1,380	1,172
営業外費用合計	2,617	1,852
経常利益	14,760	20,273
特別利益		
固定資産売却益	24	28
投資有価証券売却益	46	102
特別利益合計	71	130
特別損失		
固定資産売却損	52	9
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	52	9
税金等調整前四半期純利益	14,779	20,394
法人税、住民税及び事業税	4,676	9,084
四半期純利益	10,103	11,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,070	11,254

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	10,103	11,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,046	△4,163
繰延ヘッジ損益	190	1,139
為替換算調整勘定	10,585	△10,344
退職給付に係る調整額	211	249
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	16,035	△13,117
四半期包括利益	26,138	△1,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,036	△1,849
非支配株主に係る四半期包括利益	102	41

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,779	20,394
減価償却費	18,551	18,884
貸倒引当金の増減額(△は減少)	273	△427
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,403	△1,143
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,015	△195
受取利息及び受取配当金	△1,339	△1,665
持分法による投資損益(△は益)	△729	△949
支払利息	738	680
固定資産売却損益(△は益)	27	△18
投資有価証券売却損益(△は益)	△46	△102
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	15,845	24,998
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,395	△25,775
仕入債務の増減額(△は減少)	7,119	4,969
前受金の増減額(△は減少)	5,477	22,139
未払費用の増減額(△は減少)	△3,574	△5,010
その他	△7,043	△1,429
小計	26,265	55,349
利息及び配当金の受取額	1,720	1,988
利息の支払額	△785	△683
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,277	△8,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,923	48,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,979	△13,178
有形固定資産の売却による収入	97	228
投資有価証券の取得による支出	△105	△2,642
投資有価証券の売却による収入	346	112
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△43,562
貸付金の増減額(△は増加)(純額)	3	△165
その他	△3,359	△23,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,995	△82,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	136	△0
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△8,721	△8,725
非支配株主への配当金の支払額	△35	△24
その他	△699	△2,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,319	△10,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,782	△5,003
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,608	△49,751
現金及び現金同等物の期首残高	221,367	259,625
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,652	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	215,411	209,873

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精機事業	映像事業	インストル メンツ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,978	277,429	28,519	360,927	14,038	374,965	—	374,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	203	203	341	748	10,531	11,280	△11,280	—
計	55,182	277,632	28,861	361,676	24,569	386,245	△11,280	374,965
セグメント利益 又は損失(△)	△3,261	27,570	△2,144	22,165	3,378	25,543	△12,444	13,099

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガラス事業、カスタムプロダクツ事業等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去167百万円及び全社費用△12,612百万円が含まれております。

(注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精機 事業	映像 事業	インストル メンツ事業	メディカル 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	78,945	263,649	33,241	5,354	381,190	11,487	392,677	—	392,677
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	138	216	432	—	788	10,126	10,915	△10,915	—
計	79,084	263,865	33,674	5,354	381,979	21,613	403,593	△10,915	392,677
セグメント利益 又は損失(△)	4,045	24,276	△544	△2,583	25,194	1,447	26,642	△12,105	14,537

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガラス事業、カスタムプロダクツ事業等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去248百万円及び全社費用△12,353百万円が含まれております。

(注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「精機事業」「映像事業」及び「インストルメンツ事業」の報告セグメントに「メディカル事業」を加え、「精機事業」「映像事業」「インストルメンツ事業」及び「メディカル事業」の報告セグメントに変更しております。

平成26年6月に公表した中期経営計画「Next 100 - Transform to Grow」においてメディカル事業を主要事業に加え、第1四半期連結会計期間にOptos Plcの買収により当事業へ本格的に参入を果たしました。こうした状況を踏まえ、メディカル事業を一つの報告セグメントとして開示することが妥当であると判断しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」の報告セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にOptos Plcの株式取得に伴い暫定的に算出されたのれん35,751百万円を計上しておりましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、のれん22,009百万円に変動しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等関係

取得による企業結合

1. 取得原価の当初配分額に重要な修正がなされた場合の修正内容及び金額

第1四半期連結会計期間において平成27年5月22日に行われたOptos Plcとの企業結合による取得原価の配分が確定していなかったため、四半期連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的な情報等に基づき暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において、取得原価の配分が完了しました。

当第2四半期連結会計期間における取得原価の配分の見直しによるのれんの修正額は、次のとおりであります。

修正科目	のれんの修正金額	
のれん(修正前)	35,751百万円	(288百万米ドル)
無形資産	△19,631百万円	
繰延税金負債	5,889百万円	
修正金額合計	△13,742百万円	
のれん(修正後)	22,009百万円	(177百万米ドル)

2. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん(金額)

22,009百万円 (177百万米ドル)

(2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

4. 参考資料

(比較第2四半期連結貸借対照表)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)	増減
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	262,501	229,605	△32,896
受取手形及び売掛金	131,554	109,510	△22,043
商品及び製品	88,072	106,327	18,254
仕掛品	121,929	130,319	8,390
原材料及び貯蔵品	29,980	29,178	△801
その他	55,637	67,006	11,369
貸倒引当金	△4,159	△4,069	90
流動資産合計	685,516	667,879	△17,636
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	53,094	50,123	△2,970
機械装置及び運搬具(純額)	48,072	42,236	△5,835
土地	16,142	16,054	△88
建設仮勘定	4,393	6,160	1,767
その他(純額)	26,383	24,517	△1,865
有形固定資産合計	148,085	139,092	△8,992
無形固定資産			
のれん	3,076	23,762	20,686
その他	25,294	47,143	21,849
無形固定資産合計	28,370	70,905	42,535
投資その他の資産			
投資有価証券	80,860	78,058	△2,802
その他	30,398	28,649	△1,748
貸倒引当金	△285	△298	△12
投資その他の資産合計	110,973	106,409	△4,563
固定資産合計	287,429	316,408	28,978
資産合計	972,945	984,287	11,342

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)	増減
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	113,724	118,169	4,445
短期借入金	28,600	31,500	2,899
1年内償還予定の社債	—	10,000	10,000
未払法人税等	5,038	5,722	684
製品保証引当金	9,165	7,994	△1,171
その他	130,737	143,703	12,966
流動負債合計	287,265	317,090	29,825
固定負債			
社債	50,000	40,000	△10,000
長期借入金	34,600	31,700	△2,900
退職給付に係る負債	8,477	8,189	△287
資産除去債務	3,623	3,659	35
その他	16,777	22,822	6,044
固定負債合計	113,479	106,372	△7,107
負債合計	400,744	423,463	22,718
純資産の部			
株主資本			
資本金	65,475	65,475	—
資本剰余金	80,711	80,711	—
利益剰余金	378,515	380,966	2,451
自己株式	△12,412	△13,252	△839
株主資本合計	512,290	513,901	1,611
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	20,775	16,612	△4,162
繰延ヘッジ損益	△1,200	△61	1,139
為替換算調整勘定	40,517	30,187	△10,330
退職給付に係る調整累計額	△1,821	△1,571	249
その他の包括利益累計額合計	58,270	45,166	△13,104
新株予約権	1,132	1,231	98
非支配株主持分	507	524	17
純資産合計	572,200	560,824	△11,376
負債純資産合計	972,945	984,287	11,342

(比較第2四半期連結損益計算書)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		増 減 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	百分比	金額 (百万円)	百分比	
		%		%	
売上高	374,965	100.0	392,677	100.0	17,712
売上原価	228,788	61.0	243,050	61.9	14,262
売上総利益	146,177	39.0	149,627	38.1	3,450
販売費及び一般管理費	133,078	35.5	135,090	34.4	2,012
営業利益	13,099	3.5	14,537	3.7	1,438
営業外収益					
受取利息	636		921		285
受取配当金	702		743		40
持分法による投資利益	729		949		220
その他	2,210		4,973		2,763
営業外収益合計	4,279	1.1	7,588	1.9	3,309
営業外費用					
支払利息	738		680		△58
為替差損	498		—		△498
その他	1,380		1,172		△208
営業外費用合計	2,617	0.7	1,852	0.4	△764
経常利益	14,760	3.9	20,273	5.2	5,512
特別利益					
固定資産売却益	24		28		3
投資有価証券売却益	46		102		55
特別利益合計	71	0.0	130	0.0	59
特別損失					
固定資産売却損	52		9		△42
投資有価証券評価損	0		—		△0
特別損失合計	52	0.0	9	0.0	△42
税金等調整前四半期純利益	14,779	3.9	20,394	5.2	5,614
法人税、住民税及び事業税	4,676		9,084		4,407
四半期純利益	10,103	2.7	11,309	2.9	1,206
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	0.0	55	0.0	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,070	2.7	11,254	2.9	1,183